

# 青年部通信

事務局 蒔苗 陸



9月5日、青年部ではもち米の刈取り作業を行いました。4月下旬の播種作業から始まり、田植えや水管理などの作業も実施してきました。

刈取り当日は、午後からの天候が雨予報と不安な点がありましたが、25名の部員が参加してくれたおかげで、刈取り作業の他に田んぼ周辺の草刈り、波板の洗浄などの作業を手分けして行うことができ、無事に雨が降る前に作業を終えることができました。



今回の刈取りをした圃場は、水はけがあまり良くないため、3日前から青年部役員が水抜きを行いました。しかし当日、水はけの状態あまり良くなかったため、役員が朝早くから集まり、少しでも良い状態で作業ができるように尽力してくれました。

刈取り作業では、青年部役員で藤沢地区の林崎樹さんがオペレーターを務め、ライスロマンクラブなどで培った技術を駆使し、作業をスムーズに進めていました。



## 近日発売!

今回の活動において、若い部員が積極的に参加してくれたおかげで、活気に満ちた組織体系を維持することができました。これからも次世代への技術の継承を考慮しながら活動が続けていきたいと考えています。

刈取り作業が無事終了し、11月下旬にはもち米の袋詰めをする予定です。

今年も直売所などで販売しますので、今しばらくお待ちください。

令和7年産の青年部もち米は無事に収穫を終えることができました。

収量は、昨年と同じ程度となり、青年部員が心を込めて作り上げたもち米です。

消費者の皆様にご満足いただける商品をお届けできるよう、最後の作業まで全力を尽くします。是非、ご購入いただけますようお願い申し上げます。





# 地域づくりインターンの会 ご存じですか?!



収穫作業についての説明



園主ご夫妻との記念撮影♪



なんとも言えない美味しさ  
(´艸`)



上手く刈れたところで  
はいチーズ♪



作業のあとはうまいね～



9月8日、紙漉沢地区の成田達也さん園地において、「地域づくりインターン会」の学生4名と事務局の学生1名計5名が「サンつがる」の収穫を行いました。

彼らは、地域の方々と共に協力しながら行う地域づくりをテーマに、夏休みなど長期休みを利用して農村部で農業体験や地域行事のお手伝いや取組みなどに参加し、地域の問題点や改善するための方法を考えたりする学生達です。実家が農家の人もいれば、今まで農業に興味があっても全く触れる機会がなかった人など様々なメンバーが参加しています。

地域交流の一環でお山参詣についての勉強会や小学生の稲刈りの手伝い、本所フルーツセンターの見学も行いました。中には、選果場でアルバイトをしている弘大生を見て、こつした手伝いもしてみたいと話している方もいました。